

世界初の関節軟骨の再生医療、「条件付き適」 技術審査部会

先進医療

2018/10/19 10:34



保存

その他



再生医療を「条件付き適」と判断した審査部会 = 18日、厚生省

厚生労働省の先進医療技術審査部会（座長＝山口俊晴・がん研究会有明病院名誉院長）は18日、東海大医学部付属病院が申請した先進医療Bの「自己細胞シートによる軟骨再生治療」を「条件付き適」と判断した。上皮系以外の組織で世界初の細胞シートを用いた関節軟骨の再生医療となる。

同技術は高位頸骨骨切り術の適応である変形性膝関節症の軟骨欠損に対する新規治療法。主要評価項目はJ-KOOS（Japanese Knee Injury and Osteoarthritis Outcome Score）による術前術後1年の臨床評価とした。予定試験期間は9年間で、予定症例数は20例。評価者から外部対照群の設定の妥当性、解析方法などについて指摘があり、構成員からも患者のフォローアップに対する意見があったため「条件付き適」とした。